

学ぶ子  
励む子  
元気な子

# 東つるやま



学校便り

備前市立東鶴山小学校  
令和8年2月13日 第27号

## 手話体験講座（3・4年生）1/27（火）

この日の体験講座には、聴覚に障がいをおもちの方が来てくださいました。子どもたちは、覚えた手話を使って自己紹介をしようと練習に励んできました。実際に手話を使って会話をしてみると、うまく伝わらないこともありました。「もう少しゆっくりするといいよ。」「身体の前でするといいよ。」とアドバイスをいただきながら、楽しくコミュニケーションをとることができました。また、前回も来てくださった手話通訳の先生からは、「たくさん練習したことが伝わったよ。」とほめていただきました。

福祉の体験を通して、「老いる」とはどういうことなのか、「障がい」とは何かを考えたり、「自分たちには何ができるのか」と考えたりする過程が重要だと考えています。また、自分のことだけでなく周りの人のことも大切に思い、それぞれの考え方や生き方の違いを尊重できる価値観を育むことをねらいとしています。ご家庭でも福祉について話題にしてみてください。



## 朝会講座 2/2（月）

今年度3回目の朝会講座は、佐山地区の今脇一知さん（民生委員さん）に、民生委員さんのお仕事や東鶴山地区のお米作りについて教えていただきました。東鶴山地区の素敵な特徴の一つでもある、美しい棚田。多くの人の努力と工夫によって維持されてきました。米価高騰、気候変動、担い手不足など、水稻農業は多くの課題を抱えています。今脇さんのお話を聞いて、一部の子どもたちはそれらの課題を身近な問題として捉えたようです。



### 【子どものお手紙より】

私も家族で毎年お米作りをしています。50年以上もお米作りをされていると聞いて、「すごいな。」「尊敬するな。」と思いました。後継者がいないと佐山の美味しいお米は食べられないのか…と思い、私は大人になったら、後継者になって美味しいお米を作れるようにがんばりたいです。毎年、きれいな金色の棚田を見ると、とてもいい気持ちになります。これからもお米を作ってください。

## 昔あそびの会 2/2（月）

1・2年生が、鶴寿会11名のみなさんと一緒に、昔遊び（割り箸でっぼう・お手玉・あやとり・かるた・こま・けん玉）をして楽しみました。子どもたちは朝からわくわくしている様子でした。うまくできるまで何回も挑戦する姿、地域の方に教えていただいたことを素直に聞き入れてやってみる姿、地域の方と会話を楽しむ姿が見られ、とても温かい交流の場となりました。参加してくださったみなさんからも「子どもたちと一緒に活動すると元気が出る。」「楽しかった。」というお声をいただきました。

お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

